



銅建値1万円引き上げ65万円

10月の月内平均建値は64万9,400円

JX金属は10日、電気銅建値を1万円引き上げ65万円と発表した。2019年10月の月内平均建値は64万9,400円。10日入電のLME銅相場セツルメントは5,660.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは108.37円。この値で換算した採算価格は61万3,300円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万6,600円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(トン当たり円、カッコ内は改訂日)。

2019年

□5月	740(7)720(9)700(14)710(17)700(23)	平均709.4
□6月	670(3)680(11)670(17)680(20)690(26)	平均676.8
□7月	700(1)680(3)690(11)	平均688.1
□8月	690(1)650(5)660(14)650(19)640(26)	平均652.8
□9月	640(2)650(5)660(10)670(13)660(25)	平均658.4
□10月	660(1)640(4)650(10)	平均649.4

黄銅削粉6円引き
上げ474円

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は10日、黄銅削粉の買値を6円引き上げ474円とした。



第89回 COMC 声明

- ①電気銅 建値予測 610円-650円
- ②銅相場のトレンド ベア
- ③LME銅セツル予測 5,300-5,700ドル
- ④為替トレンド予測 円高
- ⑤ドル円予測(TTM) 105円-108円
- ⑥スクラップ景況感

発生も悪いが需要も悪いとの事

ただ、貴金属を含んだ基盤は比較的需要ありとの事

【概況】

今回のCOMCにおいては実態経済について意見がでた。

銅自体の需要はさほど悪くないが銅鉱石TCもトン55ドルまで上昇、ここ3ヶ月の高値、ということから考えれば鉱石需給が緩んでるってことなのでは!?

また、ここ最近の米中日を初めとする経済指標が良くない状態が続いており景気後退に入ったのではないかと。

これらを踏まえ、今回、当委員会はベアの見通し。

【議長】	橋本健一郎 (橋本アルミ)	大阪
【委員】	荒井義明 (荒井明商店)	東京
	角井聡一郎 (角井地銅商店)	京都
	勅使河原孝行 (テシ商店)	名古屋
	棚町祐次 (IRユニバース)	東京



ペルー：Las Bambas銅鉱山に抗議する住民の道路封鎖を一部解除

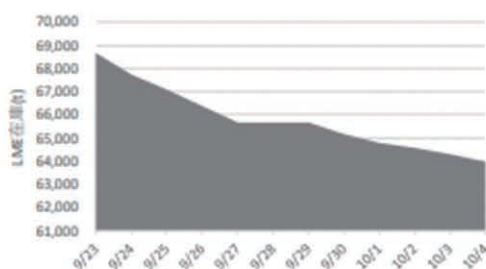
2019年10月2日付け地元紙によると、Cusco州 Chumbivilcas郡では、Las Bambas銅鉱山(Apurimac州)に抗議する住民による封鎖が続いていた鉱物輸送

道において、ペルー国家警察(PNP)による一部区間の封鎖解除が行われた。PNPは、Chumbivilcas郡 Ccapamarca区における3か所の封鎖を解除することができたものの、4か所目の封鎖地点において住民からの攻撃を受けたこと、現在も少なくとも6か所の地点で鉱物輸送道の封鎖が続いていると報告している。

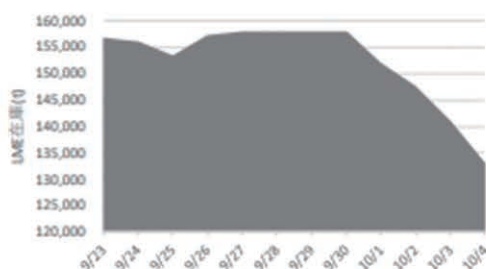


LME認定倉庫在庫量推移 9月23日~10月4日(現地)

北米特殊



ニッケル



<https://nikkankinzoku.co.jp/>

PW: NKWJ1909